

授業科目	観光フィールドワーク				実務家教員担当科目	-					
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	角谷 尚久										
授業概要	<p>観光フィールドワークの目的や手法を学び実践することで、調査対象地の実情をより理解することになげる。</p> <p>観光地ならびに観光素材を調査対象とし、調査対象・項目はそれぞれでグループワークにて決定する。</p> <p>コロナの感染状況により、現地調査を講義などに切り替える場合があるので、留意のこと。</p>										
授業形態	講義	授業方法	対面授業ならびにフィールドワーク								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1) フィールドワークの目的と方法を理解し、計画することができる。</p> <p>2) フィールドワーク対象の概要を把握しておくことができる。</p> <p>3) フィールドワークの成果を分析、考察した上で、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。</p>										
理想的レベル	観光フィールドワークを通して基礎知識を理解し、観光フィールドワークの重要性を説明できる。さらに対象の現状と課題について考察し、新たな取り組みや付加価値を提案することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験											
小テスト											
レポート	30%										
発表（口頭、プレゼンテーション）	50%										
レポート外の提出物											
その他	20%										
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	T021502J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
復習										4	
授業計画											
第1回	<p>オリエンテーション</p> <p>シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明</p>										
第2回	<p>フィールドワークの概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークとは ・フィールドワークの意義 										
第3回	<p>フィールドワークの方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査方法についての説明 										

第4回	フィールドワーク内容の調整（1） ・グループ並びに発表順の決定 ・目標設定について
第5回	フィールドワーク内容の調整（2） ・目標設定および役割分担・日程について
第6回	フィールドワーク内容の決定 ・フィールドワーク内容の発表
第7回	フィールドワークの実施（1） ・文献調査
第8回	フィールドワークの実施（2） ・文献調査まとめ
第9回	フィールドワークの実施（3） ・フィールドワークの実施（1回目）
第10回	フィールドワークの実施（4） ・フィールドワークの実施（2回目）
第11回	フィールドワークの分析・まとめ（1） ・フィールドワーク結果の集約
第12回	フィールドワークの分析・まとめ（2） ①フィールドワーク結果の分析
第13回	フィールドワークの分析・まとめ（3） ・グループごとに発表の準備をする
第14回	フィールドワークの分析・まとめ（4） ・発表内容をとりまとめ、発表準備を完了する
第15回	フィールドワークの成果発表 ・グループごとの発表
テキスト	適宜資料を配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・谷富夫・芦田徹郎編著（2009）『よくわかる質的社会調査 技法編』、ミネルヴァ書房、2500円＋税 ・谷富夫・山本努編著（2010）『よくわかる質的社会調査 プロセス編』、ミネルヴァ書房、2500円＋税
課題に対するフィールドワークの方法	授業参画やグループワークでの貢献度を重要視する。 成績発表後に評価点分布図を提示する。
学生へのメッセージ・コメント	1. 「フィールドワーク入門」を履修済みもしくは同時履修していることが望まれる。 2. 調査の成果発表はマイクロソフトパワーポイントを使用してのプレゼンテーション発表となる。

本講義は実際に街へでて、インタビューやアンケートを行う。そのため、部活動やアルバイトなどの日程調整が必要となるので、事前に確認のこと。

コロナの感染状況により、現地調査を講義などに切り替える場合があるので、留意のこと。

